

ため池ハザードマップ

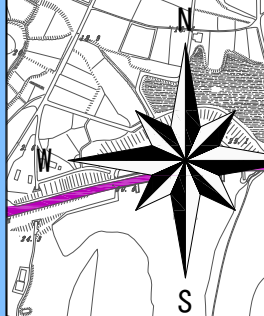
近年、局地的な大雨や大規模な地震の発生などによりため池の災害が発生しています。また、災害には至らなくても、非常に危険な状態になり、下流域の住民の方が避難を余儀なくされる事態が発生しています。

ため池ハザードマップは、大地震により堤体が決壊するといった最悪の事態を想定し、決壊による浸水被害の想定と避難対策等の情報をわかりやすく提供することを目的に作成したものです。

- 日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、家から避難場所までの経路を実際歩いて確認しておきましょう。
- 浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し、危険を感じたら自主的避難を心がけましょう。
- みなさんが災害について関心をもち、いざというときに落ち着いて行動できるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身につけておくことが大切です。
- マップの範囲外となる地域避難所については「宇佐市・大雨洪水・土砂災害・津波防災マップ」にて日頃から確認しておいてください。



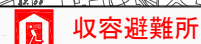
宇佐市 大門池 ハザードマップ



清水地区コミュニティセンター



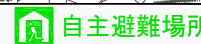
寄合い所 ゆい



収容避難所

電話番号 (0978)

1	清水地区コミュニティ 消防センター	—
2	長峰小学校	32-0344
3	長峰地区活性化センター	—



自主避難場所

電話番号 (0978)

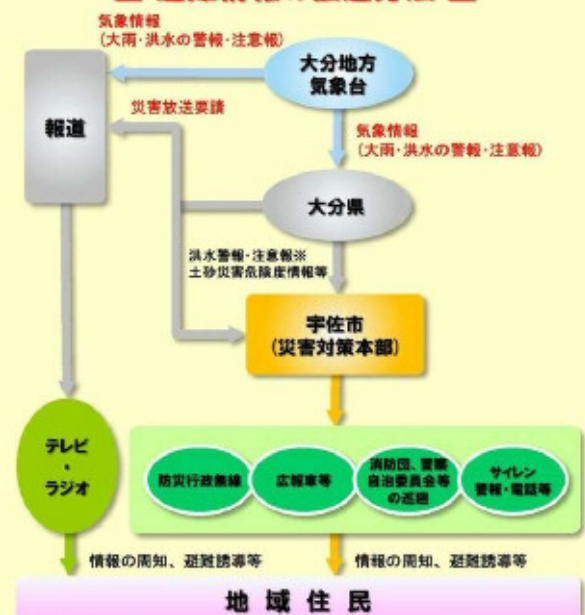
1	寄合い所 ゆい	
---	---------	--

緊急連絡先

電話番号 (0978)

宇佐市役所	32-1111
宇佐警察署	32-2131
宇佐市消防本部	32-0119
宇佐土地改良区	32-0829
大分県北部振興局	32-1173

避難情報の伝達方法

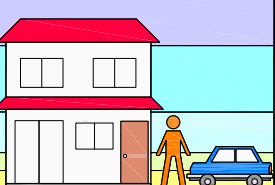


避難準備・高齢者等避難開始
避難所へ避難しましょう。
地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難しましょう。

避難指示（緊急）
まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難をしましょう。
外出することで命が危険にさらされる場合は、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

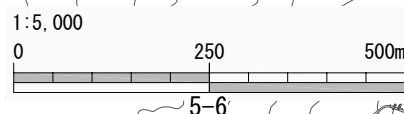
記号凡例	
洪水到達時間	
収容避難所	
自主避難場所	
避難方向	
土石流危険箇所	
急傾斜地崩壊危険箇所	

浸水深	浸水の目安
5.0m以上	2階の軒下以上が浸水する程度
5.0m未満	2階の軒下まで浸水する程度
2.0m未満	1階の軒下まで浸水する程度
1.0m未満	大人の腰までつかる程度
0.5m未満	大人の膝までつかる程度



	5.0m以上		1.0～2.0m未満		0.01～0.5m未満
	2.0～5.0m未満		0.5～1.0m未満		

※この基図は、水士情報システム基盤図(H21.3作成)を複製したものである。



大門池 諸元	
堤 長	197.50m
堤 高	4.20m
貯水量	4,400m ³